

みき通信

2011年2月23日

頑張れ くぼたみきの会 第2号・部内資料

(日本共産党葉山後援会) 発行連絡先 875-7126

「くぼたみきさんを励ます会」が、2月6日(日)友人知人、職場の同僚や地域の皆さんが集まって、葉桜団地の事務所で開かれました。

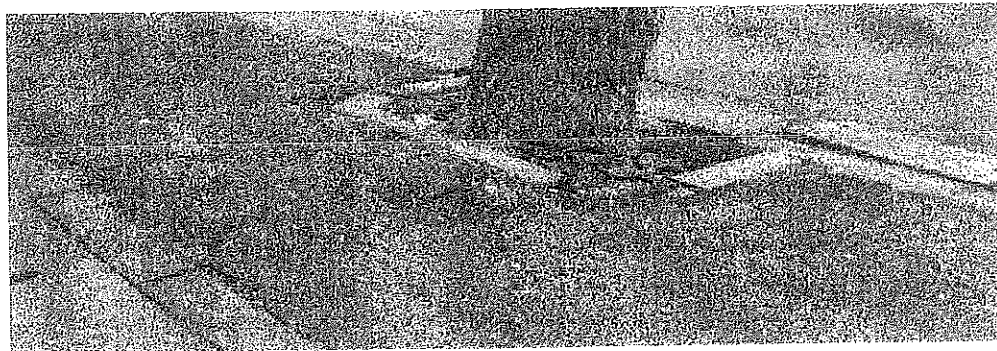
「大事な日本共産党の2議席を守りたい。福祉の仕事の体験を、子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちづくりに生かしたい。」決意に至った、みきさんの力強い話にはじまり、仲間の応援のことばや、楽器演奏など、あっという間のうれしいひとときでした。

当日は、朝早くから手作りのサンドイッチを準備したというみきさん。「家族が私の支えです。」と2人の娘さんを紹介しました。お年寄りに慕われ、明るく元気な人柄が伝わる励ます会でした。

Lets Go MIKI

がんばれ！！

くぼたみきさん



街路樹と並木道

<くぼたみきの活動日誌>

歩道を安全に

「ピンポン」の音とともに「ハイ」と声がして「ガチャ」とドアが開く。この瞬間がなんともうれしいこと。自分の笑顔の中にもピィと気持ちが引きしまる思いです。この対面を大事にしたい。と、この地域から私たちへ問題として届いている「並木道」について尋ねてみました。

その方は、街路樹の根がアスファルトの歩道を押し上げて、ベビーカーやシルバーカー通れない(裏面につづく)

〈くぼたみきの活動日誌〉

から車道を通っている。何年も直らないと言われました。

実際歩いてみると、歩くにもつまづきそうになり、想像をはるかにこえたデコボコ。その場所だけでなく並木道全体が同じ状態。歩道には狭い部分もあり、さらに歩きにくいのです。

歩道と車道にはかなりの段差ありベビーカーやシルバーカーがさっと乗り越えられる感じではありません。かなりの方々が大変な思いをされているのだらうと思いました。

青々とした葉の繁る季節、落ち葉を眺める季節、これでは並木道を楽しんではいられません。歩くのがやっとなのです。

車道を通らなくてはいけないとき、命の危険すらあるのです。

私は、命を守るために安全な歩道にしていかななくてはと思いを強くしています。



穏やかな気持ち

〈くぼたみきの活動日誌〉

ある団地を訪問活動中、とても眺めの良い一角に50センチほどの石碑がありました。石碑にはワンちゃん姿が刻まれています。きっと毎日この団地をお散歩し、ここから見える葉山の海山を飼い主の方と楽しんでいたんだなと思いととても嬉しくなりました。そして同じ日 まったく別の地域を訪問中、お宅の庭に何やら別

のビニールハウスが。中にはインドやタイ? にあるような建造物を小さくしたような1メートル程の手作り白い建物、色々なお花で飾られワンちゃんの写真が何枚も飾ってあり、飼い主さんの愛情あふれるお手紙も添えられていました。

これもワンちゃんのお墓でした。

いなくなった今でも飼い主のかたの愛情をたっぷりうけながら、一緒に暮らしているワンちゃん姿を一日に2回も見ることが出来、お墓を作った方たちは、飼い主としてではなく、家族としていつまでも一緒に暮らしていけるようにと思われたのでしょうか。とても穏やかな気持ちを持つことができました。

「虐待」という、動物だけでなく、わが子まで、手にかけていままうニュースが多く、そんな社会性を生んでいるいまの日本に強い憤りを感じます。

わが家にも14才になる娘—ミニチュアシュナウザーがいます。お婆ちゃん犬ですが、とても愛らしくいつも癒されています。「ありがとう。クッキー (犬の名前)」

〈頑張れくぼたみき〉よりお願い

- 話を聞きたい。聞いてほしい方、ご連絡ください。
- 町のこと、様々な情報などお知らせください。
- みなさんと一緒に考え、行動します。

くぼたみきさんと一緒に笑顔あふれる

希望のもてる葉山にしていきましょう。